

5. 魅力と活気のあるだれもが住みたい楽しいまち

—都市基盤の整備—

地方中核都市にふさわしい都市拠点の形成により、だれもが訪れ、住みたくなるまちづくりを推進するとともに、都市間の交流・連携、都市交通の円滑化、地域情報化を推進し、魅力と活気のある楽しいまちをつくります。

1. 都市拠点整備・再開発

- 甲府駅周辺地区の整備
- 既成市街地の再整備
- まちなか居住の再生
- 鉄道駅を核としたまちづくりの推進

2. 市街地の整備

- 計画的なまちづくりの推進
- 市街化進行地域の整備
- 新市街地の整備

3. 交通

- 高速広域交通網の整備促進
- 交通環境の整備
- 公共交通機関の利用促進
- 総合的な公共交通・交通体系の検討

4. 幹線道路

- 広域・地域交通道路の整備
- 防災・景観・福祉に配慮した計画的なみちづくりの推進

5. 生活道路

- 市道等の整備
- 道路環境の整備
- 道路の維持・管理

6. 地籍調査

- 事業の推進
- 調査結果の利活用

7. 地域情報化の推進

- 電子自治体の推進

1 都市拠点整備・再開発

施策の基本的考え方

- 甲府駅周辺の大規模空閑地を活用し都市基盤の整備を充実し、新たな拠点施設の整備と企業立地の促進に努めます。
- 既成市街地において、住環境の改善及び安全なまちづくりの促進に努めます。
- 中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりに努めます。
- 鉄道駅と連携した学園交流の拠点づくりに努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
都市拠点整備・再開発 01	01 甲府駅周辺地区の整備	01 甲府駅周辺土地区画整理事業*
		02 まちなか回遊道路整備事業
	02 既成市街地の再整備	
	03 まちなか居住の再生	
	04 鉄道駅を核としたまちづくりの推進	

01 甲府駅周辺地区の整備

■甲府駅周辺土地区画整理事業 (特別職給与費含む) 【事業No.05010101】	担当部課係名	建設部	区画整理課 換地補償係・工事係	ダイヤルイン	230-1029
---	--------	-----	--------------------	--------	----------

事業概要

- 甲府駅周辺の鉄道跡地等の大規模空閑地を活用し、都市環境を整備すると共に、新たな都市拠点の形成を図るため、道路・公園等の公共施設の基盤整備を行う。

現況と課題

- 換地設計に基づく仮換地指定及び建物移転補償等地権者との合意形成
- 横沢架道橋整備工事の円滑な推進

今後の事業展開

- 事業計画に基づき、平成35年度の事業完成に向け、事業の計画的・効率的な推進を図る。
- 朝日町通り周辺を主体に仮換地指定を行っていく。
- 横沢通りの架道橋整備工事を推進する。

成果指標	実績値	実績値	目標値			目標値 (H27～29)
公共施設整備率 (%)	平成25年度 39	平成26年度 47	平成27年度 51			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成26年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	1,337,870		1,875,508			

■まちなか回遊道路整備事業 【事業No.05010102】	担当部課係名	建設部	区画整理課 換地係・補償係・工事係	ダイヤルイン	230-1029
--	--------	-----	----------------------	--------	----------

事業概要

- 甲府駅の南北を結ぶルートを整備することにより、市民や甲府を訪れた観光客の回遊性を向上させるとともに、甲府城およびその周辺の散策しやすい歩行空間を創出することで、「歴史物語都市こうふ」を推進するための基盤を創造する。

現況と課題

- 工事が、ＪＲ踏切幅を含むものであるため、ＪＲ等各関係機関との綿密な調整を行う必要がある。
- 踏切幅工事に伴い踏切前後の家屋移転が必要となり慎重な交渉が求められる。

今後の事業展開

- 平成30年度の事業完成に向け、事業の計画的・効率的な推進を図る。
- 甲府市中心市街地活性化基本計画に位置づけられている、東京ガス山梨㈱北から、ＪＲ桜町道踏切を経て社会教育センターまでの南北を結ぶルート整備について、社会資本整備総合交付金を活用し整備を推進する。

成果指標	実績値	実績値	目標値			目標値 (H27～29)
全工程の進捗率 (%)	平成25年度 —	平成26年度 —	平成27年度 10			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成26年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	—		7,301			

2 市街地の整備

施策の基本的考え方

- 計画的なまちづくりを住民と協働で推進します。
- 地区計画*制度を活用し、地域の特性を生かした住民によるまちづくりを推進するとともに、適切な土地利用を図る民間開発の誘導に努めます。
- 面的整備によるまちづくりの促進に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
市街地の整備 02	01 計画的なまちづくりの推進	01 都市基本計画推進事業
	02 市街化進行地域の整備	
	03 新市街地の整備	

01 計画的なまちづくりの推進

■都市基本計画推進事業 【事業No.05020101】	担当部課係名	建設部	都市計画課	ダイヤル	237-5814
			計画係		

事業概要

- まちづくりに関する基本計画を策定し、都市の健全な発展と秩序ある整備を図る。
- 魅力のある持続可能なまちづくりに向け住民意見の反映が求められる状況下、まちづくりに関する計画素案の検討など、まちづくりに対する住民提案に向けた活動や取組みを市民主体または市民との協働により行う。

現況と課題

- 市街地の整備や地域特性を活かす良好な景観形成には、個人の権利に対する規制や制限も伴うことから市民の合意形成が重要である。
- 優良建築物等整備事業は、住居機能、小売店舗機能及び地域交流機能を導入し、敷地の高度利用を図り、まちなか居住を推進することが必要となっている。

今後の事業展開

- 「甲府市景観形成基本計画*」、「甲府市景観条例*」及び「甲府市景観計画」を踏まえた景観のルールづくりを行うなど、住民協働によるまちづくりを推進する。
- 優良建築物等整備事業については、関係機関と連携し、事業推進を図っていく。

成果指標	実績値	実績値	目標値			目標値合計 (H27～29)
まちづくりに関する基本計画 の策定(計画数)(件)	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	1	1	1			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	716,178		270,332			

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

3.交通

施策の基本的考え方

- 新たな国土軸*の形成による道路ネットワークの構築により、社会経済活動の変化に対応した地域活性化を図るため、高速交通網と地域高規格道路*の早期整備・促進に努めます。
- 市内中心部を通過する交通を排除することにより交通渋滞の解消を図るため、放射型道路と有機的に連結する環状道路の整備・促進に努めます。
- 在来鉄道及び路線バスの利便性を向上させるとともに、高齢者や障害者の日常の移動の手段として利用できる環境を整え、利用促進に努めます。
- 新時代に対応し、新たな交通システム*や既存の交通体系の連携改善により、新時代の交通体系を総合的に検討します。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
交通 03	01 高速広域交通網の整備促進	
	02 交通環境の整備	
	03 公共交通機関の利用促進	01 バス利用促進対策事業
	04 総合的な公共交通・交通体系の検討	

03 公共交通機関の利用促進

■バス利用促進対策事業 【事業No.05030301】	担当部課係名	企画部	交通政策課	ダイヤライン	237-5109
			交通政策係		

事業概要

- 地域の主要生活交通であるバス路線を維持・確保していく。

現況と課題

- 市内の路線バスは赤字幅が増大しているため、バス事業者の路線退出が懸念される。
- 代替バス路線においては、利用者の低迷から公費負担が嵩んでいる。沿線自治体やバス事業者との利用促進対策が課題である。

今後の事業展開

- 「甲府市公共交通体系基本構想」*に位置づけられている利用促進のための施策を住民、事業者とともに進めていくとともに、山梨県や沿線自治体ともバス路線維持のための施策を継続的に協議していく。

成果指標	実績値	実績値	目標値			目標値 (H27～29)
補助路線及び代替バス路線 の延べ利用者数 (千人:路線全行程)	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	3,193	3,135	3,135			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	85,848		71,841			

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

4 幹線道路

施策の基本的考え方

- 広域交通網の整備やそれと連携する地域の骨格となる道路網の整備に努めます。
- 災害時の避難路・都市の景観やすべての人に利用しやすい道づくりに配慮した計画的な道路整備に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
幹線道路 04	01 広域・地域交通道路の整備	01 和戸町竜王線整備事業
	02 防災・景観・福祉に配慮した計画的なみちづくりの推進	

01 広域・地域交通道路の整備

■和戸町竜王線整備事業 【事業No.05040101】	担当部課係名	建設部	都市整備課 工事係・用地係	ダイヤル	223-7055
--------------------------------	--------	-----	------------------	------	----------

事業概要

- 和戸町竜王線（中央四丁目工区）については、中心市街地の骨格を形成する都市計画道路として、また、東西方向の放射型道路として、中心市街地の交通を円滑にするとともに、快適な歩行者ネットワークの形成や来街者の増加に寄与する路線として整備する。また、隣接する城東工区及び中央五丁目工区については、山梨県による代行事業とする協定を締結したことから、負担金を支出することにより和戸町竜王線全体の事業推進を図る。

現況と課題

- 地域を斜めに分断する新設道路であることから、関係地権者等の合意形成が課題となる。また、起業地には建物が多数建ち並び、営業中の店舗も存在するため、移転が完了するまでに不測の日数を要する可能性がある。また、国からの交付金が要望額に満たない年度もあり、今後も厳しい財政状況が予想されることから、事業の進捗が遅れることが懸念される。

今後の事業展開

- 今後も粘り強い用地交渉を重ねていくことにより地権者との合意形成を図るとともに、交付金の確保のため国県に積極的に働きかけ、計画的な事業の推進と早期の事業完了を目指す。

成果指標	実績値	実績値	目標値			目標値 (H27～29)
事業費率(%)	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	30	43	60			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	609,824		555,160			

5 生活道路

施策の基本的考え方

- 地域の利便性の向上を図るために道路整備を推進するとともに、交通安全や防災上から狭小道路の拡幅整備に努めます。
- バリアフリー*化・植栽・電線類の地中化*を推進し、人にやさしい道づくりに努めます。
- 市道の適切な維持補修、道路工事の適切な施工管理の推進、不法占拠の是正推進や里道等の適切な管理に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
生活道路 05	01 市道等の整備	01 市道新設改良事業
		02 国玉通り線整備事業
		03 舞鶴公園北通り線整備事業
		04 城東三丁目敷島線整備事業費
	02 道路環境の整備	01 道路照明灯改修事業
	03 道路の維持・管理	01 橋りょう長寿命化修繕事業

01 市道等の整備

■市道新設改良事業 【事業No.05050101】	担当部課係名	建設部	都市整備課 工事係・用地係	ダイヤルイン	223-7055
------------------------------	--------	-----	------------------	--------	----------

事業概要

- 生活道路（市道）を整備し、地域環境の改善や交通の安全性及び利便性の向上を図る。

現況と課題

- 厳しい財政状況により、地域要望を受けてからの早期事業着手は難しく、3年から5年程度は工事に着手できない状況である。
- 市街地の路線は、補償費が大きく迅速な事業進捗は困難である。
- 限られた予算の中で、早急に地域要望に対応するのは難しく、緊急度や費用対効果等から施工路線を判定し、効率的な整備を進めなくてはならない。

今後の事業展開

- 市民や地域から出された要望路線の中から、緊急度や費用対効果等を判断基準とした「道路整備評価表」の評価項目に沿って点数化を行うことで優先順位を決定し、効率的で計画的な事業の推進を図っていく。

成果指標	実績値	実績値	目標値			目標値 (H27～29)
市道改良率 (%)	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	67.80	67.86	68.03			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	145,090		189,100			

■国玉通り線整備事業 【事業No.05050102】	担当部課係名	建設部	都市整備課 工事係・用地係	ダイヤルイン	223-7055
-------------------------------	--------	-----	------------------	--------	----------

事業概要

- 本路線は、市道上阿原寿町線と都市計画道路和戸町竜王線を結ぶ道路であり、車両及び歩行者の安全性・快適性の確保を図る路線として整備する。

現況と課題

- 平成 18 年度に事業を再開し、用地取得率は約 8 割までに達しているが、残りの地権者との交渉が難航している。

今後の事業展開

- 引き続き粘り強く用地交渉を重ねていくことにより、地権者との合意形成を図り、早期の事業完了を目指す。

成果指標	実績値	実績値	目標値			目標値 (H27～29)
路線整備率 (%)	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	45.79	45.79	61.58			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	36,500		66,600			

■舞鶴公園北通り線整備事業 【事業No.05050103】	担当部課係名	建設部	道路河川課	ダイヤルイン	237-5843
			道路係		

事業概要

- 甲府駅南口周辺地域修景計画の取組メニューの一つである。市道舞鶴公園北通り線の歩道整備（バリアフリー化）を行うとともに、案内機能の充実を図る。このことにより歴史や文化にふれることのできる中心市街地の再生を目指す。

現況と課題

- 沿道関係者の合意形成と駅前広場と整合性を持たせた景観に配慮した整備内容が必要となる。

今後の事業展開

- 現道の北側の歩道を拡幅するとともに、歩行者の安全・快適性を高めるため、バリアフリー化を図る。また、甲府城に誘う空間を演出するため、案内機能を充実させるとともに、意匠等についても配慮する。

成果指標	実績値	実績値	目標値			目標値 (H27～29)
執行率(%)	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	—	6	100			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	5,000		45,500			

■城東三丁目敷島線整備事業 【事業No.05050104】	担当部課係名	建設部	都市計画課	ダイヤルイン	237-5814
			計画係		

事業概要

- 城東三丁目敷島線（伊勢工区）は、甲府市都市計画マスタープランでこうふ中環状線と位置づけられているとともに、都市計画道路整備プログラムにおいても整備優先路線の順位 2 番に決定していることから、地域の道路交通の円滑化や防災機能の向上等に資することを目的に整備する。

現況と課題

- 本事業に関しては、平成 20 年 12 月に都市計画道路プログラムに関する説明会を、地元住民を対象に 2 回開催している。このことにより、地域住民は何時事業が始まるのか注意深く見守っており、事業の進捗についても問い合わせがある。

今後の事業展開

- 都市計画道路整備プログラムで整備順位の 1 番に位置づけられている、和戸町竜王線（中央四・五丁目・城東工区）の事業進捗状況に合わせ、予算の平準化を図りながら当該路線（工区）に着手する。

成果指標	実績値	実績値	目標値			目標値 (H27～29)
執行率 (%)	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	—	—	55			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	—		10,300			

02 道路環境の整備

■道路照明灯改修事業（省エネ・グリーン化 推進事業）【事業No.05050201】	担当部課係名	建設部	道路河川課	ダイヤルイン	237- 5843
			道路係		

事業概要

- 省エネ化を目的に、甲府市が管理する道路照明灯を省エネ照明設備のLED照明設備に改修を行うことにより、消費電力を大幅に抑え、温室効果ガスの効果的な削減に取り組む。

現況と課題

- 標準的な道路照明については、平成27年度からリース方式（10年間）によりLED化を促進するが、特殊形状等の、リース方式による対応が相応しくないものについては、平成28年度に改修工事を行っていく必要がある。また、リース方式による道路照明灯についても、リース期間満了後の管理について検討していく必要がある。

今後の事業展開

- 標準的な道路照明136基については、平成27年度からリース方式（10年間）により、LED化を促進する。また、特殊形状等の、リース方式による対応が相応しくないものについては、平成28年度に改修工事を行っていく。

成果指標	実績値		目標値			目標値 (H27～29)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
CO2削減効果 (t/年)	3.79	23.70	80.11			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成26年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	3,150		6,564			

03 道路の維持・管理

■橋りょう長寿命化修繕事業 【事業No.05050301】	担当部課係名	建設部	道路河川課 道路係	ダイヤル	237-5843
----------------------------------	--------	-----	--------------	------	----------

事業概要

- 平成 25 年度に策定された橋梁長寿命化修繕計画に基づき、詳細設計委託・修繕・架け替え・落橋防止工事等を実施し、現状の市道橋の長寿命化を図り、これにより年度間の財政負担の平準化及び安全安心な道路環境を目指す。

現況と課題

- 橋梁は、形状や材質が多種多様であり、特殊な土木構造物であることから、補修方法については、詳細設計の業務委託が必要である。また、橋梁が架かっている施設の管理者（河川・県道・高速道・JR 等）との協議等が必要となる。

今後の事業展開

- 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、的確な事業推進を図る。

成果指標	実績値	実績値	目標値			目標値 (H27～29)
修繕実施率(%) (修繕済み橋りょう数／修繕対象橋りょう数)	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	—	0	4			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	111,792		219,500			

6 地籍調査

施策の基本的考え方

- 地権者及び推進委員等の理解と協力を深め、調査体制の強化に努めます。
- 調査結果を生きた情報として幅広い活用に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
地籍調査 06	01 事業の推進	01 地籍調査事業
	02 調査結果の利活用	

01 事業の推進

■地籍調査事業 【事業No.05060101】	担当部課係名	建設部	地籍調査課	ダイヤル	223-6103
			地籍係		

事業概要

- 一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査及び境界並びに地積に関する測量を行い、地籍の明確化を図る。
- 調査の成果は、個人の取引から公的機関による地域の整備まで、土地に関するあらゆる行為のための基礎データとなる。

現況と課題

- 市街地域に入り土地の権利関係等、地権者間の複雑な問題が多く、これらの問題解決に時間を要する。

今後の事業展開

- 地籍調査は個人・地域の安心・安全に直結する調査であり、住民福祉の向上に有効に寄与することから、事業計画に基づき、外部委託のさらなる活用を踏まえ、迅速かつ的確な事業推進を図る。

成果指標	実績値	実績値	目標値			目標値 (H27～29)
実施計画調査面積に基づく調査率 (実施面積／実施計画調査面積)	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	44.55	45.08	46.76			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	62,431		64,473			

7.地域情報化の推進

施策の基本的考え方

- 甲府市地域情報化計画*に基づき、情報通信技術（ICT）*を利活用した効率的・効果的な行政運営を図るなかで、質の高いサービスを提供します。特に電子自治体*の推進により、全てのシステムにおける全体最適化に努めると共に、地域全体としてコミュニケーション基盤の形成や地域産業の活性化に資する各種施策を推進していきます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
地域情報化の推進 07	01 電子自治体の推進	01 電子自治体推進事業

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 電子自治体の推進

■電子自治体推進事業 【事業No.05070101】	担当部課係名	総務部	情報課	ダイヤルイン	237-5216
			情報係		

事業概要

- 「甲府市地域情報化計画*（2013～2015）」に基づき、情報通信技術（ICT）*を活用した簡素で効率的な行政運営を図るとともに、市民の視点に立った質の高いサービスを提供する。特に電子自治体*の構築を通じて、システムの最適化を進めるとともに、地域全体としてコミュニケーション基盤の形成や地域情報化の推進を目指す。

現況と課題

- 「甲府市地域情報化計画*（2013～2015）」の各施策において、情報通信技術（ICT）*を効果的・効率的に活用し施策を実施していくことが求められている。特に社会保障・税番号制度においては、制度の導入に向け、国より自治体業務の業務改革が求められており、全庁で取り組む必要がある。

今後の事業展開

- 「甲府市地域情報化計画*（2013～2015）」に基づく、着実な行政運営を目指すとともに、情報通信技術（ICT）*を効果的・効果的に活用した、市民生活の利便性向上や地域産業の活性化に資する各種施策を推進していく。特に「こうふD0計画の推進」については、運用管理期間中の安定稼動に努め、引き続き業務仕様の検証や、業務の最適化を図っていく。また、平成31年度から次期システムが稼動することから、基本計画の策定や業務仕様の作成など、情報システム管理委員会を活用し、計画的に事業を推進していく。社会保障・税番号制度については、推進会議及び関係部会を通じ、庁内調整を行い円滑な導入を図っていく。

成果指標	実績値		目標値			目標値 (H27～29)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
地域情報化計画進捗率(%)	58	87	100			
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H27～29)
	平成26年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	9,700		12,061			